

# カンガルーシップ活動 ネイバーサポートプロジェクト 実施報告書

報告日	平成 29 年 2 月 14 日
学校名	愛知教育大学附属特別支援学校
P T A 会長名	山本 結花

実施概要	実施活動名	特別支援教育公開セミナー
	実施日時	平成 28 年 12 月 26 日 (月)
	実施場所	本校敷地内 日常訓練施設 (くすのきホーム)
	実施目的	近隣の小・中学校の先生, 保育園・幼稚園の先生, 保護者を対象に, 特別支援教育に関する情報や知識を発信する。
	実施内容	講師講演
	実施方法	大学関係や行政関係の方で, 特別支援教育に深く携わっている方を講師としてお招きし, 講演をしていただく。
	参加人数	保育士 (2), 小中学校教員 (16), 小中学校保護者 (2), 本校保護者 (2), 本校教員 (27)

報告事項	内容	<p>「今, 特別支援教育に求められるもの」というテーマのもと, 以下の日程で開催した。</p> <p>16:00~16:20 受付</p> <p>16:20~17:00 講演① 愛知県教育委員会特別支援教育課主査 尾本 国博 先生 演題 「特別支援教育の推進に向けた愛知県の取り組みについて」</p> <p>17:00~17:10 休憩</p> <p>17:10~17:50 講演② 愛知教育大学障害児教育講座准教授 飯塚 一裕 先生 演題 「保護者と教師がともにすすめる特別支援教育」</p> <p>17:50~18:00 質疑・応答</p> <p>18:00~ 諸連絡, 解散</p>
	結果	<p>尾本先生からは, 国の動向をふまえて, 愛知県特別支援教育推進計画を中心に話をしていただいた。個別のカルテを活用していくこと, 合理的配慮を研修する機会を設けること, 障害への理解を促進すること等, 今後の特別支援教育を考えていく上で, 貴重な話を聞くことができた。参加者からは, 「国や県の動向を伝えていただける機会があるのはありがたいです。」といった感想を聞くことができた。</p> <p>飯塚先生からは, 発達障害の理解と支援を中心に話をしていただいた。発達障害のある子どもについて, 実情にあった支援を考えていくことの重要性を改めて感じる事ができた。参加者からは, 「発達障害の子の事例を取り上げながら, 見方やとらえ方, それに合う支援について勉強になりました。」といった感想を聞くことができた。</p> <p>例年に比べて, 保育園, 幼稚園の先生の参加が少なかった。開催時期等を考えていく必要があるかもしれない。ただ, そのぶん, 若干名ではあるが岡崎市内一般校の保護者や, 本校保護者の参加があっよかった。</p>
	所感	<p>事後アンケートからは, 「基本に戻って考えることができました。現在の特別支援教育について知ることができました。」「興味深い内容でよかったです。」等の感想が書かれており, 運営側としては, 実施してよかったですと感じている。一方で, 「もう少しゆっくり聞きたかったです。」「難しいところもあったため, もう少し時間があるとよかったです。」という感想もあった。日程や実施内容等で, 今後の課題もあるが, この活動を続けていくことが, 特別支援教育に対する理解を深めていくことにつながるので, 価値のある活動であると考えます。</p>

添付書類

収支決算書, 領収書, 参加者の声 (保護者の感想), 写真

## ネイバーサポートプロジェクト（特別支援教育公開セミナー）



提出日 平成 29 年 2 月 14 日

学校名 愛知教育大学附属特別支援学校

カンガルーシップ活動  
ネイバーサポートプロジェクト  
参加感想

【特別支援教育公開セミナー 参加保護者の感想】

保護者の立場でも聞いて勉強になる機会があった

先生方と一緒に受けられるセミナーだったのが、  
違う面からも知ることができたり勉強になりました。